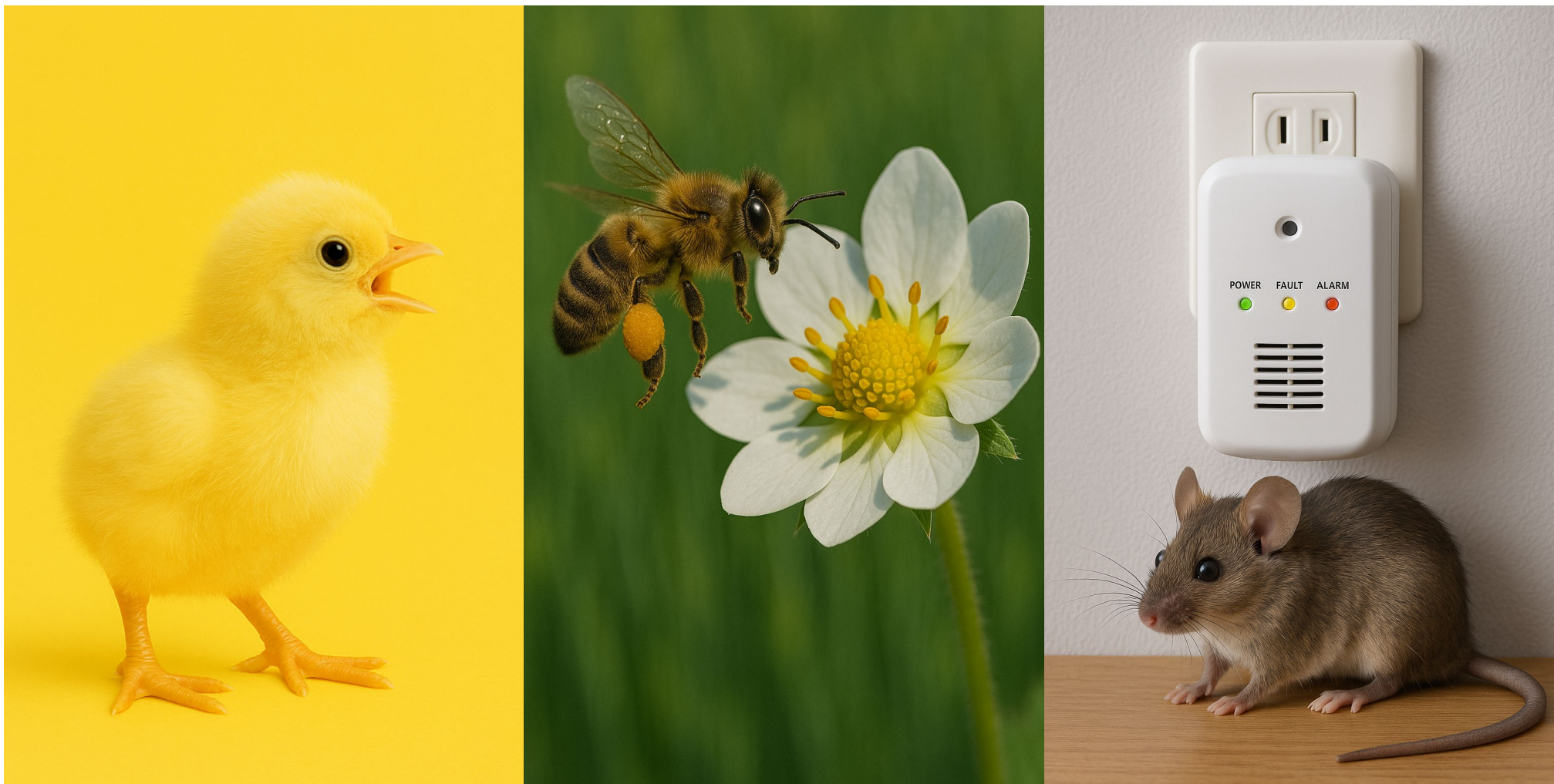


生物生態に特化したAI学習・分析による農業畜産の効率化、衛生管理システムの開発



日本ルースト株式会社

進化する「コンピューター知能」と多様な「生命・生物」への探求

取組 1

ヒヨコの性判定



地鶏の改良・種鶏生産を行う公設試験場における課題
高齢化により初生雛の性別を仕分ける鑑別師が不足



NICT 2022年度「高度通信・放送研究開発委託研究」採択番号:22601
有限会社電マーク、熊本県農業研究センター、国立大学法人広島大学

熊本県「原種 天草大王」のAI性判定 精度96.5%



2025年 ICTスタートアップリーグ

交配母系「ロードアイランドレッド」系統3鶏種に対応
目標 学習手法の改良により精度98%以上を達成



全国の公設試験場・海外種鶏事業者に展開
日本・海外の40鶏種 2億羽/年にサービスを提供

取組 2



生物特化のAIスタートアップとして全国の公設試験場から関心

公設試験場（水産試験場）における課題

1mlの海水を顕微鏡目視で計数(時間がかかる)



2025年 ICTスタートアップリーグ

目標 流路デバイスによるAI検出のPoC達成



2026年度 自治体との社会実装

八代海での実証実験



全国の公設試験場に展開

八代海・瀬戸内海の12府県への展開
赤潮プランクトンの発生状況を広域的に表示するマップ